

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・当店は1年で一番忙しい新学期の時期を迎えるが、何となく今年は世間の風潮に乗ってか、様々な物の動きが今までより良いようである。このままいってこれれば有難い。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・年度末で太陽光発電の駆け込み需要で契約が結構出てきている。それと同時に、アベノミクスの影響が、客の購買意欲が少しずつ上向きになっているようである。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・どちらかというと言裕層になるが、高額品の陶磁器や絵画の売上が好調である。
		百貨店（店長）	単価の動き	・貴金属や高級衣料が動き始めている。
		百貨店（店長）	販売量の動き	・主力商品の売上が伸びてきている。
		百貨店（店長）	単価の動き	・全館で、客単価、来客数共に上向いている。
		スーパー（経営企画担当）	来客数の動き	・3か月前と比べると来客数と売上の前年比が上がってきたが、まだ前年比100%には届かない。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・売上が前年比で105%、来客数も104%と好調である。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・エコポイント対象商品であり、地上デジタル放送化で特需があったテレビや映像関連商品については、まだ回復していない。これ以外の商品では、特に空気清浄機は昨年3倍の売行きとなっている。単価も高く、良い物が動いている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・最需要期のため、やや良くなっている。
		乗用車販売店（統括）	競争相手の様子	・例年3月後半は受注が減少してくるのだが、意外と減少していない。
		乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・アベノミクス効果による株高や各自動車メーカーにおける一時金満額回答等により、消費者が財布のひもを緩めたようである。やや明るい兆しがみえたようだが、中小企業までの効果はあまりない。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・毎月、ある程度コンスタントに車は売れているが、就職、進学、卒業が重なり、3月は特に1、2月と比べてかなり販売量が増えている。一過性だと思うが、おそらく4月も続くような勢いで今のところ売れている。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・3か月前よりは多少動きは良いものの、販売量は落ちている。原因はよく分からないが、通常の3月期ではありえない販売量である。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・3月に入り、来客数、買上点数が前年割れから微増に転じてきている。アベノミクス含め、景気回復に関する報道のように、現時点においては、収入増になっているといった実感がわかないが、先行きの安心感が現われ始めているように感じる。
		住関連専門店（店長）	販売量の動き	・客1人当たりの買上点数が、前年と比較して伸びている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・当地域は、寒暖の差が今年は特に大きく影響しており、3月に入り寒さも和らぎ、客の動きが徐々に良くなっている。
		観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・宿泊者数は微増である。売上もそれに伴い多少伸びている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・3月になって人の動きが非常に活発になっている一番の要因としては、送別会が挙げられる。アベノミクスに対する期待で株価が上がり、心理的な要因もあるのではないかと。
	都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・前年同月と比べて宿泊の稼働率が上っているため、多少景気が良くなってきている。	
	旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・春になり桜の季節になった。我々、国民の気持ちも明るくなってきている。	
	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・株価上昇の効果、桜の早期開花が春休みと重なって、観光客の動きが上々である。外国人の来訪も日々増えている。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・今月は送別会の時期のため、一時的だと思うがタクシーの利用客が売上に対して3割増えた。送別会をしても一次会だけで帰る傾向が強くなり、夜9時頃がピークで、相変わらず深夜の客は少ない。	

	通信会社（経営者）	お客様の様子	・加入などの問い合わせが増えており、実際、加入にもつながっている。しかし、年度未要因だけなのか、景気が上向きなのかは不明である。
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・当地域のような田舎では、マスコミが騒ぎ立てるような景気の良さは全く感じることもできず、中小企業においてはベースアップどころかボーナスゼロが当たり前になっている。そのような状況で、家族の就職や進学のお祝いに、無理して商品購入している様子が見える。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・例年よりも早くから暖かくなったことを受け、卒業旅行を始め、観光客の動きが良くなってきている。
	遊園地（職員）	来客数の動き	・高速道路のトンネル崩落事故の影響により、低調に推移した3か月前と比較すると、週末に好天に恵まれ、来客数は堅調に推移している。
	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・大きなゴルフコンペは少なくなったが、年度末ということもあり、2、3組の小さなコンペの客が数多く来場するようになっている。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・春先に向けて、ヘアスタイルをショートスタイルにしたり、ヘアカラーも明るい色に変える傾向が多くみられる。気分的に客はスタイルを変えたい願望が強いので、来客数が少しずつ増加している。
	設計事務所（所長）	お客様の様子	・今月は決算ということもあり、客も積極的に動いている。早い段階で受注に結びついている。
	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・新政権になってから、景気が上向いていると感じる人が多かったせいか、販売量及び来客数が増加している。成果については、成約率も上昇していることから、やや良くなっている。
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・1～2月の展示場の来場者数は、10～12月と比べて1.6倍に増えており、3月以降の契約に結び付くと考えられる。アパート、店舗建築も引き続き好調であるため、全体の受注も底上げされるだろう。
変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店ではマスコミで報道されているほどには、アベノミクスの効果に対する実感がわからない。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・アベノミクスにあおられているが、来客数は一向に増えないため、何とか商店街として街おこしをしようと、飲食店を中心にサービス運動の計画をしている。
	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・急に暖かくなり、桜も咲き始めて活動の時期になってきたが、異動や卒業の季節のため、家の中も忙しい。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・建築、リフォーム関連の動きはみえてきているが、家電製品の動きは相変わらず鈍い。新入学等に絡んだ商品も入居施設に備え付けの物を利用する状況が増え、なかなか購入に結び付かない。
	一般小売店〔青果〕（店長）	販売量の動き	・本当に必要なもの以外はほとんど動かない状況で、お彼岸も普段とほとんど変わらない売行きだった。スーパーなど他店の話も聞いたが、やはりお彼岸の売行きはかなり悪かったと言っている。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・気温の上昇に伴い、婦人衣料は好調に推移しているが、店全体での底上げには至っていない。円安、株高に伴い一部の富裕層による高額品の動きもみられるが、一般消費者には波及していない。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・例年に比べ気温が極端に高く、婦人衣料の売上が堅調に推移しているが、店全体の売上を押し上げる要因までには至っておらず、3か月前と比べてあまり変わらない。
	スーパー（店長）	単価の動き	・数か月、単価に変化はない。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・チェーン店の5分の4で前年をクリアできていない。アベノミクスの効果を感じられるのは、まだ先のようである。
	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・客単価は前年並みから少し上がっているが、来客数は減少傾向が続いている。
	スーパー（統括）	販売量の動き	・節句やホワイトデースイーツフェアなどで、これまであまりみられなかった衝動買いと思われる買物傾向があるなど、消費に楽しさを求める傾向が顕著になってきており、消費者マインドは明らかに好転してきている。
	スーパー（商品部担当）	販売量の動き	・来客数や客単価の動きに変化がみられない。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・飲物やたばこの単品買いのため客単価が上がり、前年割れになっている。

コンビニ（店長）	来客数の動き	・3か月前と比べて、ほとんど状況は変わっていない。来客数は依然、1日100人程度割ったままの状況が続いており、厳しい状況ではある。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・強風の日が多かったために客足が鈍く、売上が前年比約7%減少している。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・政権交代に伴い、円安、株高など景気上昇ムードは一部にあるものの、大多数のユーザーはあくまで冷静沈着に判断している。購買意欲はそれに比例し、大きな変化がみられない。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売台数は全体的に横ばいだが、販売車種ではコンパクトカーが多く、収益面では減少傾向になっている。
住関連専門店（仕入担当）	お客様の様子	・気温が高い影響で園芸商材のスタートは早く、上積みがあるが、それ以外の商材は大きな変化はなく、特に消耗品の価格下落傾向、節約傾向は変わっていない。
その他専門店 [ガソリンスタンド]（従業員）	販売量の動き	・販売量は前年並みである。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ここ何か月も来客数は昼に多少増えているが、夜は非常に少ないため、毎月ほぼ変わらない。
一般レストラン（経営者）	単価の動き	・円安になり輸入食材は値上がりしているが、客単価を上げられず、また、消費者も今までと感覚は変わっておらず、むしろ悪循環になりつつある。
スナック（経営者）	来客数の動き	・送別会が思ったほど多くなかったが、フリーの客が多くなってきたため、全体としては変わらない。
スナック（経営者）	競争相手の様子	・競争相手の様子としては、おそらくパブルを知らない人たちが良いと思ってやっているのだと思うが、とにかく競合店が非常に多くなってきている。また、客の動きももちろん気になっている。
都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・当地域では、3月は観光施設によるイベントの時期である。昨年より来客数は伸びたものの、東日本大震災前の状態にはまだ戻っていない。福島第一原子力発電所の事故による風評被害がまだ若干続いている感じである。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・雰囲気は良くなっている感じだが、具体的に見えてはいないため、変わらない。
旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・販売量に目立った伸びがみられない。
通信会社（局長）	販売量の動き	・客の様子には、景気が改善方向に向かっているとの期待感がうかがえる。一方で販売実態からすると、季節要因を除くと3か月前の状況と変化していない。
競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購買単価、全体の売上に、それほど変化がみられない。
その他レジャー施設 [アミューズメント]（職員）	単価の動き	・給料、物価は下げ止まりから上昇に転じているのは実感できるが、当社のようなアミューズメント施設を利用する客の収入が増えている実感はまだなく、もう少し時間がかかるのではないかと。逆に経費、材料費などの値上げについてすでに申請もきており、経営環境が非常に厳しくなっている。客の使う単価は上がっていないため、今のところは苦しい状態が続いている。
美容室（経営者）	来客数の動き	・3か月前に既に景気は冷えていたが、その状況が変わらない。
その他サービス [立体駐車場]（従業員）	来客数の動き	・来客数は増えている。データ上では約5%上昇になっている。しかし、単価が横ばいのため、変わらない。
設計事務所（経営者）	販売量の動き	・仕事は、途切れることなくある。
住宅販売会社（従業員）	それ以外	・当社の別荘地内にある有力ホテルが閉館を決定し、リゾート地としてのイメージがダウンした。
住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・当地域における不動産の動きに関しては、全く良くなっていない。土地の下落はやや止まったようにもみえるが、相変わらず賃貸住宅、貸店舗、アパート等における空室が多く、家賃の値下げが進んでいる。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き ・隣接する駅前大型店が郊外へ移転してから1年、跡地は更地で後が決まらない。最初はそれほど感じなかった人通りの減少も、6か月を過ぎたあたりから顕著になり、ボディブローのように効いてきている。

	商店街（代表者）	来客数の動き	・報道などで景気上昇がいわれたり、百貨店の友の会バーゲンがやや良かったとの話もあるが、街は相変わらず閑散としており、買物客もまばらである。	
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・2月末に、近隣にコンビニが出店した影響もあって、客が若干そちらに流れているようである。	
	衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子	・今月は年度末であり、創業祭ということで決算セールを中旬からやっている。しかし、来店客が口々に言っているのは、いわゆるアベノミクス効果は我々には関係ない。というよりも、現在すでに急激な円安によって輸入品、石油製品関係が極端に値上がりを始め、それが生活必需品にもじわりじわりと浸透してきたため、自分の買物はできないというのが実感らしい。そういった声が本当に身近で聞かれるようになっており、婦人服までは手が届いていないようである。	
	高級レストラン（店長）	それ以外	・中心商店街の衰退が著しく、閉店する店が急増している。	
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・飲食関係は、夜の時間帯の来客数がなかなか伸びない。	
	タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼の動きも良くないが深夜の動きが特に悪く、前年同月比18%の減少である。	
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・先月同様、一向に進展がない状況である。いずれにせよ建設投資が可能な状況になるには、まだ時間がかかると思う。	
	悪くなっている	一般小売店〔衣料〕（経営者）	販売量の動き	・最近まで雪が道路のそばにあったが、暖かくなったためなくなってきた。もうすぐ桜が咲くようである。しかし、景気のほうはそれほど良好とはいえない状態である。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・行政系の印刷物やサイト制作で食いつないであり、一般企業や商店からの引き合いは皆無に等しい。行政系の業務は売上にはなるが、利益率が非常に低い。現状維持では経費を賄うことささげしい。
企業動向関連 (北関東)	良くなっている	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・各メーカー共、工場見学者数も徐々に増加してきており、売上数量、金額共に前年をクリアしている。また、1本当たりの単価も若干上がりつつある。
		一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・中国市場において油圧ショベルの過剰在庫を抱えていたが、今年の春節を終え適正な在庫水準に戻ったとの判断もあり、取引先において年末に一度整理した人材派遣を戻す動きが出ている。
やや良くなっている		金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・ミキサー車などの特装車両は日建ての台数を増やし、増産体制に入っている。今後はさらに増やしていく様子である。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・当社は部品加工をしているが、試作品の注文が多かった。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・大手自動車メーカーからの受注実績については、3か月前と比べると大幅に伸びている。特に3月は、過去にない受注量を確保しており、その面では良くなってきている。一方では、コスト軽減の要請もあり、1個当たりの価格が下がったため、収益面では若干低下傾向に入った感じがするが、量的には十分に確保できている。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い、受注量共に増加傾向にある。年度末という季節要因か、投資意欲の変化かは分からない。数か月様子をみる必要がある。
変わらない		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・今月は年度末のため受注量も増えたが、4月については今のところ予定があまりないため横ばいである。
		化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・東日本大震災復興の仕事があるため、鉄工所、鉄骨加工場の作業員が東北に行ってしまう。そのため、当地域での仕事が減っており、消耗品の動き等も悪く、あまり景気が良くない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・店頭商品の在庫受注はいくらかあるものの、特注品の動きが全くない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主客先の新機種生産が遅延しており、来月に試作等開始の予定である。

	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・円安、株高で大企業などは良くなってきたようだが、我々中小企業は、受注量がまだ少ないところが多く、いろいろな取引先を見つけてなんとか受注量を維持している状況である。このところの2か月程度ではどちらともいえない。
	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社の大型環境装置の部門については5～10年のメンテナンス付直接リースのため、売上が年間計画に組込まれているため、月ごとの実績にはほとんど影響がない。
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・新年度を迎えるのに際し、引越し依頼などは例年並みで推移している。また、新生活のための生活インテリアなどの荷動きも安定しており、例年並みの数字を確保している。ただし、当業界としては円安による燃料高により長距離運行などは利益が薄く、厳しくなっている。
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・製造業関連において、自動車部品製造、有機化学工業製品製造などで売上が増加している一方で、サービス業関連は、尖閣諸島問題による中国人観光客の大幅な減少や、高速道路のトンネル崩落事故による観光客の減少などにより低調である。また、建設業、建築業関連においても、民間工事が低調なため売上を落とししており、全体的に景況感是不変ではない。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・円安や株高で企業マインドに改善がうかがえるものの、受注状況から判断すると、業績改善にはまだ時間がかかるとみられる。一部の企業で、円安による仕入価格の上昇が企業業績に影響を及ぼしている。
	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・年度末によくあるスポット作業の話が少なく、例年より作業が減少しているが、建物管理の新規案件が増えたため、その分を考慮すると横ばいである。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・特に変わらない。良くなっているとマスコミが報じてても、中小企業には無関係である。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・チラシ出荷量はほぼ前年並みだが、大手電器量販店が広告媒体を変更し、大判出荷に至ったことが大きな要因にもなっている。また、ホームセンターで灯油を購入している消費者のなかには、価格高騰の影響で、何本もまとめ買いはしない傾向がうかがえる。
	司法書士	受注量や販売量の動き	・客の話などを聞いていても、徐々に明るい雰囲気にはなってきているが、数字でははっきり出るかというところまでには至っていない。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・アベノミクスへの期待感はあるものの、地方経済への効果はこれからとの見方が強い。実態は、例年通りの季節変動の枠内での動きといえる。
	社会保険労務士	取引先の様子	・少しずつ暖かくなり各種イベントも増えてきているが、客単価などは今のところ変化はない。
やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今まで安定していた金属加工関係の受注が減り始めている。全国的な動きに比べ、当社は悪い状況になっている。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末ということもあって、在庫調整が何かで、大分仕事量が減ってしまった。前年と比べても厳しい状況である。株価は上がっているのに、注文が全くないというのは何か少し不自然である。きっとそのうち回復してくると思うが、状況としては厳しい。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・デパートでは高額な宝石が売れているというが、卸、小売の現場においては実感に乏しく、今月も動きは鈍い。円安のためダイヤを含む材料が15%近く高騰していることもあり、どこも商品の仕入に慎重になっている。
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・従来であれば年度末に公共工事の発注があったが、補正予算が成立したにもかかわらず、当地域は例年に比べて発注量が少ない。
	不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・契約料金が下がったままであり、以前の受注額に戻りそうな気配はまだない。
悪くなっている	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・売上は前年同時期で10%以上落ちている。
	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・受注額は、3月末で前年比10%以上の減少である。設備投資が減少しており、営業に力を注いだが発注額は落ち込んでしまった。今期は人員が自然減で補充せず行ったため、現在は何とか前年並みの利益を確保している。
雇用関連	良くなっている		

(北関東)	やや良くなっている	人材派遣会社 (営業担当)	採用者数の動き	・3月初旬から、派遣社員募集の依頼があり需要が増えている。
		職業安定所(職員)	採用者数の動き	・季節的要因はあるかもしれないが、就職者数が多く、前月比、前年同月比共に4割程度増加している。
	変わらない	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・今月は住宅関連と土木等の建築関係、建設関係が動き出している。また、自動車関連では、新車は分らないが、中古車が動き始めている。衣料品等については一進一退で微妙な感じである。ただし、食料品や菓子関係の販売では、ホワイトデー、バレンタイン等の関係で伸びているようである。
		求人情報誌製作 会社(経営者)	周辺企業の様子	・周辺企業の景気はまだ低迷している。建設関係は、消費税増税前にと契約が多少出てきている。求人募集は多業種にわたりあるものの、正社員の募集は極端に少ない。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・製造業において、円安の影響からパート、契約社員の求人はみられるものの正社員はほとんどなく、回復した状況には至っていない。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数は前年比24.1%増加しており、ここ4か月連続して前年比増が続いてはいるが、内訳では、正社員求人の伸びが鈍い一方で、派遣等非正規求人の増加だけが目立っている。
	やや悪くなっている	人材派遣会社 (経営者)	採用者数の動き	・1月から開始の仕事がなくなったり、約30人の引き取りがあったり、このところ当社としてはあまり良くない。
		人材派遣会社 (管理担当)	求人数の動き	・製造業で派遣社員の求人が減少している。
		職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・関連主要企業及びその関連企業で、現在、早期退職の希望者を募り12～3月にかけて実施している。県北地区で530名程度となる見込みである。そのため、現在、新規求職者が増加していきそうな状況である。
	悪くなっている	-	-	-